

令和8年度
特定行為研修
募集要項

第4期生（4月開講）



特定行為研修指定研修機関
学校法人埼玉医科大学
看護リカレント教育センター

I 埼玉医科大学の基本理念

本学の基本理念は、「限りなき愛」が基本となっており、従来、基本的な理念として「人類に奉仕するために医療を行う」という姿勢で、大学を創立する以前からこの地域で医療活動を行ってきた医療施設から発しています。

II 沿革

わが国では、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、さらなる在宅医療等の推進を図っていくためには、個別に熟練した看護師のみでは足りず、医師又は歯科医師の判断を待たずに、手順書により、一定の診療の補助を行う看護師を養成し、確保していく必要がありました。このため、その行為を特定し手順書によりそれを実施する場合の研修制度として、平成27年(2015年)10月に特定行為研修制度が創設されました。

特定行為を実施する看護師には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が求められることから、本学では大学の理念を踏まえ、診療組織と教育・研究組織が一体となって特定行為研修に取り組むことになり、令和6年2月22日付で特定行為研修の指定研修機関として厚生労働大臣の指定を受けました。

III 特定行為研修の基本理念・目標

1. 特定行為研修の基本理念

大学の理念である「限りなき愛」を礎に、多様化する社会ニーズに対応できる看護を提供するために、医療安全に配慮しつつ、病状の変化に柔軟かつ円滑に対応でき、チーム医療の中核をなす看護師を育成する。

2. 特定行為研修の目標

- 1) 高度な看護実践に向けて系統的に知識を統合し、関連する病態生理や薬学的根拠に基づいた治療薬物の使用方法を理解し、ケアの質を保証できる能力を身につける。
- 2) 医療面接、身体所見及び検査結果等から対象の状況を的確に把握し、その意思決定を支援することができる。
- 3) 医師の指示の下、手順書案を作成し、再評価、修正できる能力を養う。
- 4) 医師、歯科医師から手順書による指示を受け、実施の可否を判断するために必要な知識を習得する。
- 5) 実施、報告の一連の流れを適切に行うことができる。

IV 特定行為研修について

1. 履修コースと定員

- | | |
|-------------------------------------|-----|
| 1) 在宅・慢性期領域パッケージ | 5名 |
| 2) 術中麻酔管理領域パッケージ | 10名 |
| 3) 外科系基本領域パッケージ | 10名 |
| 4) 集中治療領域パッケージ | 10名 |
| 5) 栄養カテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連 | 10名 |
| 6) 動脈血液ガス分析関連 | 10名 |
| 7) 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 | 若干名 |

- ◆ 1)、2)、3)、4)は、複数選択できません。
- ◆ 1)、3)、4)選択者は、6)を追加して出願可能です。

2. 研修内容

1) 研修期間：令和8年4月8日（水）～令和9年3月26日（金）※予定
研修は「共通科目」と「区分別科目」で構成されます。

(1) 共通科目：約6か月

(2) 区分別科目：約6か月（共通科目を履修後に受講を開始します）

2) 履修科目と時間数

(1) 共通科目＝250時間

科目名	時間数	内訳			
		講義	演習	実習	試験
臨床病態生理学	30時間	27時間	2時間		1時間
臨床推論	45時間	35時間	8時間	1時間	1時間
フィジカルアセスメント	45時間	39時間	3時間	2時間	1時間
臨床薬理学	45時間	35時間	9時間		1時間
疾病・臨床病態概論	40時間	34時間	4時間		2時間
医療安全学／特定行為実践	45時間	22時間	13時間	9時間	1時間

※本学職員で受講前支援履修者は、履修した科目の講義相当時間数を免除します。

(2) 区分別科目／時間数は講義、演習、学内実習の時間（OSCE、病院実習は除く）

科目名		時間数	実習
在宅慢性期領域	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 気管カニューレの交換	9時間	5症例
	ろう孔管理関連 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	17時間	5症例
	創傷管理関連 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	27時間	5症例
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 脱水症状に対する輸液による補正	12時間	5症例
術中麻酔管理領域	呼吸器（気道確保に係るもの）関連 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	10時間	5症例
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 侵襲的陽圧換気の設定の変更	18時間	5症例
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 人工呼吸器からの離脱		5症例
	動脈血液ガス分析関連 直接動脈穿刺法による採血	14時間	5症例
	動脈血液ガス分析関連 橈骨動脈ラインの確保		5症例
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 脱水症状に対する輸液による補正	12時間	5症例
	術後疼痛管理関連 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	9時間	5症例
	循環動態に係る薬剤投与関連 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	13時間	5症例
	外科系基本領域	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 中心静脈カテーテルの抜去	8時間
創傷管理関連 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去		27時間	5症例
創部ドレーン管理関連 創部ドレーンの抜去		6時間	5症例
動脈血液ガス分析関連 直接動脈穿刺法による採血		10時間	5症例
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 脱水症状に対する輸液による補正		12時間	5症例
感染に係る薬剤投与関連 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与		30時間	5症例
術後疼痛管理関連 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整		9時間	5症例

科目名		時間数	実習
集中治療領域	呼吸器（気道確保に係るもの）関連 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	10 時間	5 症例
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 侵襲的陽圧換気の設定の変更	24 時間	5 症例
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整		5 症例
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 人工呼吸器からの離脱		5 症例
	循環器関連 一時的ペースメーカーの操作及び管理	9 時間	5 症例
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 中心静脈カテーテルの抜去	8 時間	5 症例
	動脈血液ガス分析関連 橈骨動脈ラインの確保	10 時間	5 症例
	循環動態に係る薬剤投与関連 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	21 時間	5 症例
	循環動態に係る薬剤投与関連 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整		5 症例
	循環動態に係る薬剤投与関連 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整		5 症例

科目名		時間数	実習
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型 中心静脈注射用カテーテル管理)関連	末梢留置型中心静脈注射用 カテーテルの挿入	9 時間	5 症例
動脈血液ガス分析関連	共通して学ぶべき事項	5 時間	—
	直接動脈穿刺法による採血	4 時間	5 症例
	橈骨動脈ラインの挿入	4 時間	5 症例
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	17 時間	5 症例

3. 受講モデル

研修は、共通して学ぶ「共通科目」と特定行為ごとに学ぶ「区分科目」に分かれており、共通科目を修得後、選択した区分科目を履修します。研修は講義、演習、実習によって行われます。共通科目の講義は、勤務先や自宅での e ラーニング受講が可能ですが、演習・実習は埼玉医科大学（毛呂山キャンパス）で実施します。e ラーニング受講は、インターネット環境のあるパソコン、タブレット、スマートフォン等が必要です。当機関でも受講することができます。

4. 修了要件

研修を修了するためには、次の条件を満たす必要があります。

- 1) 共通科目を全て履修し、筆記試験もしくは観察評価に合格すること。
- 2) 選択した区分別科目を履修し、筆記試験もしくは観察評価に合格すること。

5. 修業年限と最長在籍期間

修業年限 1 年（最長在籍期間 2 年）

6. 履修内容の認定等

- 1) パッケージを選択した場合、いずれかの特定行為区分を修了した看護師については、共通科目と看護師籍に登録済の特定行為に係る区分別科目の履修を免除します。
- 2) 指定研修機関等で既に履修した科目や時間数の取り扱い並びに履修の認定については、関連する科目の受講にあたり考慮します。

V 応募方法について

1. 募集時期

年2回(4月期と10月期) ※但し、領域別パッケージは4月期のみ

2. 受講資格

次の各号に定める要件をすべて満たしていることが必要です。

- 1) 日本国の看護師免許を有すること。
- 2) 看護師の免許取得後、看護実務経験が通算5年以上であること。
- 3) 所属する施設の長または看護部門責任者の推薦を有すること。
- 4) 研修期間中に有効な看護職賠償責任保険に加入していること

3. 出願手続き

1) 募集要項請求方法

埼玉医科大学公式ホームページ「埼玉医科大学 看護リカレント教育センター」から必要書類をダウンロードしてください。

埼玉医科大学公式ホームページ URL <https://www.saitama-med.ac.jp>

2) 出願締め切り 令和8年2月14日(土) 必着

3) 出願提出書類 ※提出された出願書類は返却いたしません。

- (1) 受講願書…特定研様式1 太枠内は自身で記入(氏名以外ワープロ可、看護部長の署名が必要)
- (2) 小論文…特定研様式2
- (3) 看護師免許証の写し(白黒コピー可、拡大または縮小しないこと)
※看護師籍訂正・免許証書換申請中、免許証再交付申請中の場合は事前にご連絡ください。
- (4) 特定行為研修修了証の写し(既に特定行為研修を修了したことのある方のみ)
※複数回にわたり研修を受講・修了している方は、すべてについて提出してください。
※改姓し看護師免許証と姓が異なる場合は、証明する書類を添付してください。

4. 出願書類提出方法

出願提出書類一式を期日までに看護リカレント教育センター宛にお送りください。

5. 選考

書類選考及び面接(令和8年2月25、26、27日に実施。指定日をメールで連絡いたします)

6. 受講決定

結果は、令和8年3月5日(木)頃にメールで通知します。

VI 受講手続と受講料について

受講予定者に手続についてご案内します。手続期間及び受講料は下記の通りです。

1. 受講手続期間 令和8年3月10日(火)～令和8年3月16日(月)

2. 受講料

- 1) 選択した内容の受講料を指定の期日までに納付してください。
- 2) 受講料一覧

内容	研修日数	一般(税込)	共通科目免除(税込)
A 在宅・慢性期領域	39日	288,000円	188,000円
B 術中麻酔管理領域	40日	343,000円	243,000円
C 外科系基本領域	44日	378,000円	278,000円
D 集中治療領域	41日	348,000円	248,000円
E 栄養に係るカテーテル管理 (末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	3日	160,000円	60,000円
F 動脈血液ガス分析関連	3日	150,000円	50,000円
G 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	4日	140,000円	40,000円

※共通科目免除の該当者は、既に1行為以上の特定行為研修を修了している方を指します。

※Fについて、領域別パッケージで1行為を修了している場合は25,000円となります。

※E、F、Gのうち複数を選択した場合は、共通科目免除の金額に100,000円を加算した金額となります。

3) 留意点

(1) 納付後の受講料は原則として返還いたしません。

(2) 研修のための宿泊及び交通費等は自己負担となります。

【振込先】 銀行名 埼玉りそな銀行
 おごせもろやま
 支店名 越生毛呂山支店 (589)
 口座名義 (学) 埼玉医科大学
 口座番号 普通 4407617

*振込人名は受講生の氏名とし、振込手数料は受講者負担でお願いいたします。

3. 受講許可

1) 受講料の納付をもって受講許可となります。

2) 開講式は令和8年4月8日(水)午前9時より毛呂山キャンパスで挙行予定です。

VII参考

1. 受講進度表

1) 月間研修予定の概要

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
共通科目	臨床病態生理学	講	講													
	臨床推論		講	学												
	フィジカルアセスメント			講	講	講	学									
	臨床薬理学				講	講										
	疾病・臨床病態概論					講	講									
	医療安全学・特定行為実践						講	講	学							
区分科目	在宅	呼吸器(長期呼吸療法)関連							講		才	実	実	実		
		ろう孔管理関連							講		才	実	実	実		
		創傷管理関連								講		才	実	実		
		栄養および水分管理に係る薬剤投与関連								講		実	実	実		
	術中麻酔	呼吸器(気道確保)関連							講			才	実	実	実	実
		呼吸器(人工呼吸療法)関連							講	講			実	実	実	実
		動脈血液ガス分析関連								講	才		実	実	実	実
		栄養および水分管理に係る薬剤投与関連								講			実	実	実	実
	外科系基本	術後疼痛管理関連									講		実	実	実	実
		循環動態に係る薬剤投与関連										講	実	実	実	実
		栄養に係るカテーテル関連								講			実	実	実	実
		創傷管理関連								講	講	才		実	実	実
集中治療	創部ドレーン管理関連									講		実	実	実	実	
	動脈血液ガス分析関連									講	才		実	実	実	
	栄養および水分管理に係る薬剤投与関連									講			実	実	実	
	感染に係る薬剤投与関連										講		実	実	実	
	術後疼痛管理関連										講		実	実	実	
	呼吸器(気道確保)関連								講		才		実	実	実	
集中治療	呼吸器(人工呼吸療法)関連								講	講			実	実	実	
	循環器関連									講			実	実	実	
	栄養カテーテル管理(中心静脈)関連										講		実	実	実	
	動脈血液ガス分析関連										講	才		実	実	
循環動態に係る薬剤投与関連											講		実	実		

…凡例…

講	講義・演習(共通科目)(区分科目)	学	学内実習(共通科目)	実	実習(区分科目)	才	OSCE
---	-------------------	---	------------	---	----------	---	------

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
共通科目	特定行為区分名												
	臨床病態生理学	講											
	臨床推論		講学										
	フィジカルアセスメント		講	講	学								
	臨床薬理学			講	講								
	疾病・臨床病態概論				講	講							
区分別科目	医療安全学・特定行為実践					講	学						
	栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連							講	講	学	学才	実	実
	動脈血液ガス分析関連							講	講	学	学才	実	実
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連							講	講	学	学才	実	実

…凡例… 「講」 講義(eラーニング)、「学」対面授業(学内演習/学内実習)、「オ」OSCE、「実」病院実習

2) eラーニングについて

- (1) 受講者各自で計画的に進めます。
- (2) 毎週10～12時間程度のペースで学習を進めます。

3) 対面授業について

- (1) 対面授業時間割(一日を8時限とし、最大6時限の授業を行います)

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限	8時限
9:30～ 10:30	10:40～ 11:40	12:40～ 13:40	13:50～ 14:50	15:00～ 16:00	16:10～ 17:10	17:20～ 18:20	18:30～ 19:30

- (2) 各受講区分の時間割について

- ① 時間割は、前期と後期に分けてご案内いたします。
- ② 授業時間は、講師の都合により変更となる場合があります。

2. 学習を進めていくイメージ

- 1) 対面授業の予定は選択パッケージにより異なります。
- 2) 対面授業は5月下旬～12月までの金曜日に実施します(変更の場合あり)

月	火	水	木	金	土	日
講義(eラーニング) ※勤務シフトに合わせて計画的に自己学習				対面授業	講義(eラーニング)	

3. 対面授業会場

- 1) 学校法人埼玉医科大学看護リカレント教育センター
- 2) 埼玉医科大学医学部校舎(教育実習棟カタロスタワー、15号館オルコスホールほか)
〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38番地

4. 実習場所

- 1) 原則としてご自身の所属する施設(所属施設)での実施となります。
- 2) 所属施設で実習困難な場合は、本学関連病院等での実習となります。
- 3) 実習症例が不足等の場合は、実習場所が変更となる場合があります。

月	火	水	木	金	土	日
指導者医師の指導を受け実習(症例選択、特定行為実習、振り返り、評価) ※指導者と相談、調整し実施						

- (1) 埼玉医科大学病院(埼玉医科大学毛呂山キャンパス)
〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38番地
- (2) 埼玉医科大学総合医療センター(埼玉医科大学川越キャンパス)
〒350-8550 埼玉県川越市鴨田1981番地
- (3) 埼玉医科大学国際医療センター(埼玉医科大学日高キャンパス)
〒350-1298 埼玉県日高市山根1397番地1
- (4) 受講者が勤務している施設
注) 指導者を選出いただき、本学の協力施設契約を締結する必要があります。



お問い合わせ（特定行為研修の運営・学務窓口）

学校法人埼玉医科大学看護リカレント教育センター

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話 049-276-1272（内線 41-2256）

メールアドレス nkenshu@saitama-med.ac.jp

URL <https://www.saitama-med.ac.jp/kangobu/index.html>